

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切である	6	国の定めた基準以上の広さを確保し、児童の特性に応じた適切なスペース配置・利用を行っています。		
	2	職員の配置数は適切である	6	基準を満たす人員配置をしており、療育に関わる職員は全員有資格者です。		
	3	生活空間は、児童にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている。	1	5	玄関付近、勝手口はバリアフリーではないため、転倒やケガに注意を払っております。室内はフラットになっています。	トイレは建物の構造上、車いすでの利用が難しくなっております。玄関には段差が1か所ありますが、今後スロープの設置などを検討してまいります。現在、該当する児童はおりませんが、支援が必要な児童の受け入れ時には、安全面に十分配慮しながら協議してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、児童たちの活動に合わせた空間となっている	5	1	日々、清掃・消毒を行い、清潔保持を徹底しております。一人ひとりがゆったりと心地よく過ごせるよう配慮しています。	児童の利用状況によっては、運動スペースが十分に確保できない場合があります。今後、利用時間帯などを考慮しながら対応してまいります。
	5	必要に応じて、児童が個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっている	6	6	事業所内に個室スペースは設けておりませんが、児童の活動内容や状況に応じて適宜対応しております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	6	日常のミーティングやリフレクション会議等で、常勤・非常勤を問わず情報共有や話し合いを行い、現状把握と改善点を討議しています。	
	7	保護者様向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	6	昨年度実施のアンケート回答より、保護者様のご意見の下改善を試みております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている	6	6	日常のミーティングやリフレクション会議等で常勤・非常勤を問わず情報共有や話し合いを行い、現状把握と改善点を討議しております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については、今後の課題として検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を行うために、研修の機会や会社内で研修を開催する機会が確保している	6	6	年間計画に基づき、事業所内外で定期的な職員研修を実施しております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている	6	6	支援プログラムを作成し、令和7年度に向けた公表準備をしております。	支援プログラムを作成し、令和7年度に向けた公表準備をしております。
	12	個々の児童に対してアセスメントを適切に行い、児童と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	6	アセスメントを通じて児童や保護者様のニーズを把握し、適切な計画を作成しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、児童の支援に関わる職員が共通理解の下で、児童の最善の利益を考慮した検討が行われている	6	6	モニタリング実施後、児童の状況や保護者様のニーズを分析し、個別支援計画（原案）を基に策定会議を実施し、職員間で意見を出し合いながら支援の質を向上させています。	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われている	6	6	利用児童の課題を共通認識し、課題達成に向けた支援内容を共有しております。	
	15	児童の適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認している	6	6	モニタリングを年に2回以上実施し、保護者様との聞き取りや日々の療育記録をもとに確認を行っています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、児童の支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	6	児童発達支援ガイドラインに基づき、【本人支援】の5領域から児童の育ち全体に必要な支援を組み立てております。【家族支援】、【移行支援】も合わせて行うことを基本としています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	6	有資格者がそれぞれの立場から意見を出し合い、児童の年齢や特性を考慮しながら、全職員で話し合い支援計画を立案しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	6	季節ごとの行事やイベントを工夫しながら実施しております。	
	19	児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われている	6	6	児童の特性、保護者様のニーズ、活動時間に応じて個別活動と集団活動を組み合わせています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている	6	6	当日の予定や支援内容について、事前に職員間で確認する時間を設けております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	6	支援終了後、または朝会時に職員間で振り返りを行い、送迎等で不在の職員には口頭や職員の連絡ノートを活用して情報を共有し、児童の様子や支援の方向性を周知しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	6	支援内容だけでなく、その日の児童の様子などを正確に記録し、次の支援担当者への申し送りや職員間で共有を行いながら、より良い支援を目指しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている	6	6	半年ごとに必ずモニタリングを実施し、児童の状況や保護者様のニーズを分析しながら計画を作成しています。	
関係機関や保護者様との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その児童の状況をよく理解した者が参画している	6	6	対象児童については、事前に職員間で話し合い、現状を把握した上で児童発達支援管理責任者が担当者会議に参画しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている	6	6	協力医療機関、行政、保育、学校などと連携し、必要な支援を行っております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	6	移行支援を行うことで、地域の保育や支援を受けられるようし、同年代の児童との関わりを深めるため、支援内容や情報共有を進めております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	6	個人情報に十分配慮し、必要に応じて関係機関と情報共有を行っております。	
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っている	6	6		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させている	6	6		
	30	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	6		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受けられる機会を設けている	6	6	同一法人のセンター機能を有する事業所と連携し、アドバイスを受けております。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の児童と活動する機会がある	6	6	コロナ禍以降、交流の機会はありませんでした。	今後の交流については、状況を鑑みながら関係者様のご意向を伺いながら検討してまいります。
	33	日頃から児童の状況を保護者様と伝え合い、児童の発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	6	日頃から保護者様との情報交換を行い、職員間で随時共有・更新を行っております。	
保護者様への説明責任等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対しての支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っている	5	1	送迎などの機会に保護者様のお悩みやお困りごとをお聞きし、必要な助言や効果的な支援方法をその都度お伝えしております。また、療育上必要な家庭での協力が求められる場合には、可能な範囲でご提案し取り組んでいただいております。	
	35	定期的に、保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要に応じて支援を行っている	6	6	相談や申し入れに対して迅速かつ適切に対応し、今後も継続してまいります。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、児童や保護者様の意思の尊重、児童の最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、児童や家族の意向を確認する機会を設けている	6	6	児童発達支援計画を作成する際は、保護者様のニーズを取り入れ、利用児童の課題を客観的に分析した上で策定しております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者様から児童発達支援計画の同意を得ている	6	6	ガイドラインに基づいて個別支援計画を作成し、保護者様に説明を行った上で同意を得ております。	
	38	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者様同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている	6	6	コロナ禍移行交流はできておりませんでした。	感染症予防の観点から、積極的な開催は自粛しておりますが、保護者様のご要望があれば前向きに検討してまいります。
	39	児童や保護者様からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、児童や保護者様に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	6	保護者様からのご相談の際には、その都度迅速かつ丁寧な対応を心がけております。ご相談いただいた内容は職員間で共有し早期解決へ繋がるよう対応してまいります。	
	40	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を児童や保護者様に対して発信している	6	6	公式 Web サイトのブログや SNS を活用し、HUG マイページを通じて利用日ごとの療育や活動内容をお伝えしております。	
	41	個人情報の取扱いに十分留意している	6	6	個人情報は鍵付き書庫で厳重に管理し、適切に保管しております。	
	42	障がいのある児童や保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	6	良好な関係が築けるよう、言葉遣いや情報伝達の方法に配慮しております。	
	43	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている	6	6	事業所内で地域住民を招待するイベントは行っておりませんが、敷地内の大家さんとの交流（手紙交換・野菜栽培）を行っております。	関係機関との交流についても、状況を鑑みながら関係者様のご意向を伺い、機会を検討してまいります。
	44	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	6	事業所入口に必要なマニュアルを掲示し、保護者様・職員が常に確認できるようにしています。また、定期的に児童とともに訓練を実施しております。	
	45	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	6	避難訓練は年間計画を立て、児童も参加して定期的の実施しております。訓練の様子は事業所よりお知らせしております。	
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の児童の状況を確認している	6	6	アセスメント時に聞き取りを行い、詳細な情報を職員間で共有しております。	
	47	食物アレルギーのある児童について、医師の指示書に基づく対応がされている	6	6	指示書がある児童については保護者様と情報共有を行い、アレルギー情報は一覧表を作成し、全職員に周知しております。	
	48	安全計画を作成し、安全管理に研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分な中で支援が行われている	6	6	安全計画を作成し、職員が常に確認できるようにしています。安全管理のための研修や訓練を実施し、児童の安全を第一に考えた支援を行っております。	
	49	児童の安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づき取組内容について、家族等へ周知している	6	6	緊急時の避難場所等については、保護者様に説明し、書面でお渡ししております。	
	50	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしている	6	6	ヒヤリハット報告を徹底し、記録を閲覧し、共有しながら、再発防止に努めております。	
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	6	事業所内に虐待防止責任者を選定し、事業所内研修を実施し、職員の認識を深めております。	
52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、児童や保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	6	利用契約書には身体拘束の原則禁止を記載しておりますが、やむを得ず必要な場合には、事前に十分な説明を行い、保護者様の承諾を得た上で支援計画に記載しております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体でおこなった自己評価です。